

# 若年層の自殺予防の基礎知識

我が国における自殺者数の総数は平成22年から令和元年にかけて減少傾向にある一方で、小学生、中学生、高校生、専修学校等の自殺者数は平成28年以降増加傾向にあり、死因に占める自殺の割合は高く、若年層への自殺対策が課題となっている。令和2年の自殺者数を過去5年平均の自殺者数と比較すると、男性は580人から651人に増加し、女性は248人から387人に増加。特に女性の小学生、中学生、高校生の自殺増加(73, 5%増加)は顕著となっている。

本研修では、若年層に携わる支援者が自殺予防の基礎知識を得て対応力向上を目指す。

## 記

日 時: 令和4年12月23日(金) 13:30~15:30 (受付開始 13:00~)

会 場: ピュアリティまきび 2階「千鳥」

(岡山市北区下石井2丁目6-41)

対 象: 教育、医療、保健、福祉等の関係機関職員

参加費: 無料

定 員: 50名(申込み先着順)

申込み: 令和4年12月15日(木)までに裏面の申込み用紙でFAXにてお申込み  
ください。

## 【講師】

福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 先生

### <講師プロフィール>

熊本大学医学部を卒業後、福岡大学病院にて臨床研修。2006年より、救命救急センターに搬送された自殺企図者に関する調査・研究に従事。2008年より、厚生労働省自殺対策のための戦略研究: ACTION-Jに参加。2009年より、福岡大学病院精神神経科助教、2011年より現職。

専門領域はコンサルテーション・リエゾン精神医学、自殺予防、精神分析的精神療法。精神科病棟と救命救急センターを中心とした臨床に従事し、特に自殺予防に関する調査・研究及び教育を行っている。